

【主催】群馬県、前橋地方事務局、群馬県人権擁護委員連合会、群馬県人権啓発活動ネットワーク協議会

【制作】NPO 法人たかさきコミュニティシネマ

群馬人権映画祭 オンライン上映会

Human Rights Movie Festival in Gunma 2024

ヒューマンライツ・ムービーフェスティバル in ぐんま

2024. **12.8** [SUN]

オンライン開催

申込制：無料（先着 500 名限定）

申し込み方法：専用フォームからお申し込みください。

申込期間：11月8日（金）から12月5日（木）23:00 まで。

定員に達し次第申し込み終了

映画の配信は、お申込みいただいた方へ視聴方法を前日までに
ご案内いたします。



【配信作品】2024年12月8日0:00から23:59まで限定配信

上映

『息をするように』

枝優花 監督作品（2021年22分）

トーク1

『息をするように』を中心に、
ヒューマンライツを考える

トーク2

映画監督として表現者として思うこと



枝優花 監督（映画『息をするように』 監督）

オンラインにて上映を行います。申込方法や上映作品の詳細については、特設 WEB サイトにてご確認ください（右記 QR コードまたは以下の URL からアクセスいただけます）。申し込みフォームから必要事項を入力・送信後、受信確認で返信メールをお届けします。お申込みから3日以内に返答がない場合は たかさきコミュニティシネマまでご連絡ください。
URL: <https://hrmf-gunma.com/>



【お問い合わせ先】

企画に関するお問い合わせ：群馬県生活こども部生活こども課人権同和係 TEL.027-898-2687 / seikatsuka@pref.gunma.lg.jp

作品や申込に関するお問い合わせ：たかさきコミュニティシネマ（シネマテークたかさき） TEL.027-325-1744 / info@hrmf-gunma.com

Human Rights Movie Festival in Gunma 2024

「人権」は、誰にとっても身近で大切なものです。しかし、「人権の世紀」と言われる21世紀になった現在でも、同和問題を始め、女性に対する暴力、いじめや児童虐待、高齢者・障害者に対する偏見や差別など、様々な人権問題が依然として残っています。また、最近ではインターネット上の誹謗中傷やヘイトスピーチ、LGBTQ等の性的少数者に対する偏見や差別など新たな課題も発生しています。

こうした中、群馬県では「第2次人権教育・啓発の推進に関する群馬県基本計画」に則り、県民一人一人の人権を尊重し、誰もが暮らしやすい社会を作るため、関係機関等と連携し施策を推進しています。今回の「ヒューマンライツ・ムービーフェスティバル in ぐんま」は、こうした取り組みの一環として開催するものです。今年も人権週間にあわせ、県民の皆さんが広く参加可能なオンライン型のイベントを企画いたします。



出演：伊藤万理華
小野寺晃良 ほか

『息をするように』 枝優花 監督作品 2021年22分

両親の離婚をきっかけに祖母のところに転校してきた少年アキ。東京にいた頃と変わらず、自分でも自分のことがうまく掴めず、自信の持てないまま息をひそめるように生活していた。が、人気者のクラスメイト・キイタが声をかけてくれるから、少しずつ彼と一緒にいる時間が増えていく。

“特別”に思えるキイタと“何もない”自分はずり合わない距離をおこうとするが、キイタにも周りの人に隠している秘密があった。



枝優花（えだ・ゆうか）

1994年群馬県生まれ。映画監督、写真家。2017年、主演に穂志もえかとモトロー世理奈を迎えた初の長編映画『少女邂逅』を発表。「MOOSICLAB2017」で観客賞を受賞したほか、国内外で高い評価を得る。そのほか indigo la End、マカロニえんぴつ、羊文学、崎山蒼志、Awesome City Club など様々なアーティストのミュージックビデオ撮影や、アーティスト写真撮影も手掛ける。また、オムニバス映画『イカロス 片羽の街』内「豚知気人生」(U-NEXTにて配信中)、ドラマ25「クールドジ男子」(テレビ東京ほか)、ドラマシャワー「ワンルームエンジェル」(MBSほか/全話演出担当)、ドラマストリーム「瓜を破る ～一線を越えた、その先には」(TBSほか/演出)、ドラマイズム「墜落JKと廃人教師 Lesson2」(MBSほか/演出) など。ano「愛してる、なんてね。」ミュージックビデオ / Unplugged Short Movie。